

**毛利栄子**議員の9月県議会での質問と答弁の要旨を紹介します。一般質問、答弁の全文はホームページの**議会の様子**から、質問の動画は右のQRコードよりご覧いただけます。



## ＊ ＊長野県ゼロカーボン戦略の推進について＊ ＊

**毛利** 県は温室効果ガス排出量を2050年に実質ゼロをめざし、2030年度までに60%削減するとしているが最新の実績はどうか。

**環境部長** 2019年度1,213万トンCO2で2010年度比約22%の減少となっている。

**毛利** 省エネでは2030年度までに乗用車の1割10万台をEV車に、との目標を持っているがコストが高く切り替えできないので、支援策を検討してほしい。

**環境部長** 道の駅などへの充電設備設置に補助し、充電インフラ整備を重点に進めている。

**毛利** 県内の再生可能エネルギーのポテンシャルが高いのは太陽光と小水力だが、どのように取り組むのか。また再エネ電力の地産地消の取り組みはどうか。

**環境部長** 屋根ソーラーはいまだに約1割の設置にとどまっている。小水力は地域との合意形成にハードルが高いため、砂防堰堤などの施設も有効活用して取り組んでいきたい。自家消費も含め、再エネの地産地消は災害に強い地域づくりにも重要。取組を推進していく。

## ＊ ＊特別支援学校の環境整備について＊ ＊

**毛利** 特別支援学校は、臭くて古い和式トイレや雨漏りする寄宿舍など、老朽化、過密化、狭隘化が進み劣悪な環境にある。ここに至るまで迅速に対応しなかった教育委員会の責任は重い。緊急の対応が必要だ。

**教育長** 現在の課題については、早期に改善できるよう計画的な環境整備を進める。

## ＊ ＊リニア建設工事における尾越工区の残土処理について＊ ＊

**毛利** リニア工事によるトンネル掘削工事の残土で、一級河川蘭川沿いの沢を盛土して建てられた工場跡地に、さらに盛土し最大高さ23mになる計画は住民から不安の声が出ている。大規模盛土の計画には第三者委員会を設置し専門家による対応が必要ではないか。

**建設部長** 専門的な知見を活用し、条例に基づいて適正に審査する。

**毛利** 工事申請に関して住民の意見がどう反映され、どう審査されるかの経過は公開されるのか。

**建設部長** 個別の案件について審査中は公表していない。

### ＊質問を終えて＊

今年の夏は異常な暑さでした。省エネ・再エネに積極的に取り組み、気候危機打開に真剣に立ち向かわなければ、地球と暮らしに未来はありません。県のいっそうの取り組みを求めました。

